



2015.6.28 信者全体集会

南山教会の現状

主任司祭 B・ノヴァク神父

現在、南山教会の信徒平均年齢は50歳ですが、ミサ後の多くの子どもたちの元気な姿や、教会学校や中高生会の参加者数を見ると、もともと若くなってきたように感じています。ほとんどの小教区が高齢化で悩んでいる中、南山教会は若々しく非常に恵まれています。とても嬉しいことです。

2014年に18名の方、2015年の6月まで15名の方が帰天されましたが、2014年に20名の方、今年に入ってから20名の方が洗礼を受けられまして、この一年半で転出された方よりも、転入された方の方が8人多かった結果、南山教会の信徒数(7月8日現在)は、2168人となっています。

これほど大きくて、これほど若い南山教会は、大きな責任をもっている、名古屋教区においても、地域社会においても大きな役割を果たさなければならぬと思います。私たちに、神の愛を証しする使命と、キリストが成し遂げてくださった救いのわざがもたらす恵みを伝える使命が与えられています。小教区がこれらの使命を果たすために、一人ひとりの信徒が洗礼の約束を忠実に果たし、信仰の恵みを生かすと同時に、イエス・キリストとの交わりを深める必要があります。従って、一人ひとりの信徒は、日々の祈り、聖書の読書、キリストとともに生きること、さらに小教区の運営や共同体の諸行事に参加することによってキリスト者の仲間と交流し共に祈り、また、諸秘跡を受けることや典礼に参加することによって救いのわざを記念し、それにあずかることを大切にする必要があります。

小教区の働きが可能になるためには、言うまでもなく諸費用が必要です。維持献金は、2009年から、少しずつ増えています。昨年度は、減っています。現在の経済状況のために厳しい状態に置かれておられる方が大勢いらっしゃるでしょうが、特に経済的にゆとりのある方々に今まで以上のご協力をお願いしたいと思っています。どうぞ、よろしくお願いたします。

平日のミサ時刻:

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)
火曜日 午後7時
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時

主日のミサ時刻:

土曜日 午後5時 (ミサ後、聖体礼拝)
日曜日 午前8時・9時30分・午後6時
Sunday Mass in English 9:30 am
(in the Marian Hall)
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後3時30分

中高生会

梅村 祥子

月十二日に(日)にしてください。たくさんの中高生の皆さんに聞いて欲しいと思っています。

本年度も新たに楊神父様をお迎えして中高生会を行っていただきます。

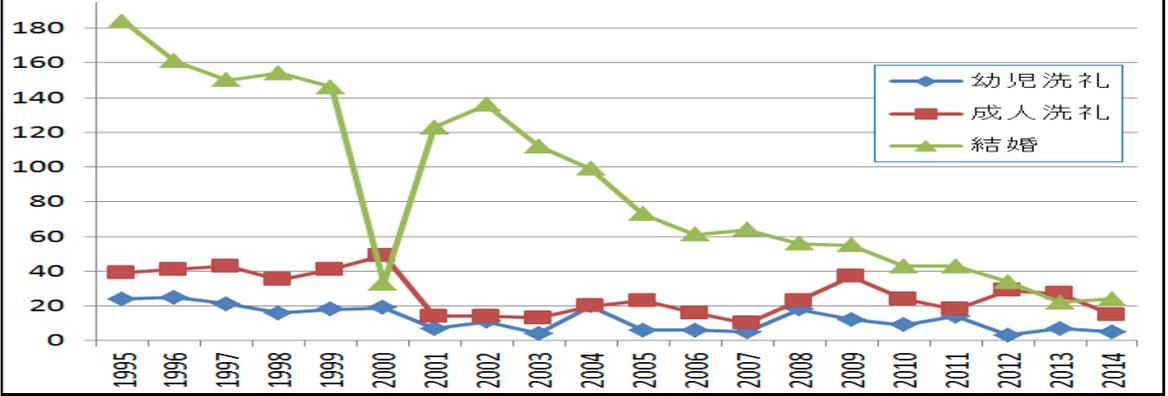
五月三十一日(日)は、楊神父様を囲んで、中高生保護者会の皆さんと一緒に昼食をとり、ボーリングへ出かけました。六人の中高生の参加がありました。

六月十四日(日)は、井爪謙治さんより、戦争体験のお話を聞いていただきました。戦後七十年という節目、戦争体験をしてきた人が少なくなってきたという人が少なく、戦争体験を聞き、貴重なお話を聞くことができた。十五才で海軍航空隊飛行予科練生となり、どのような訓練を受け、戦時中の教育がどういったものであったかをお話してくださいました。四人の中高生と二人の青年がお話を聞きました。井爪さんはご自分の体験を話すことにより、戦争は二度と繰り返してはいけないということを若い人に伝えたいという熱意を持っておられ、二回目を七

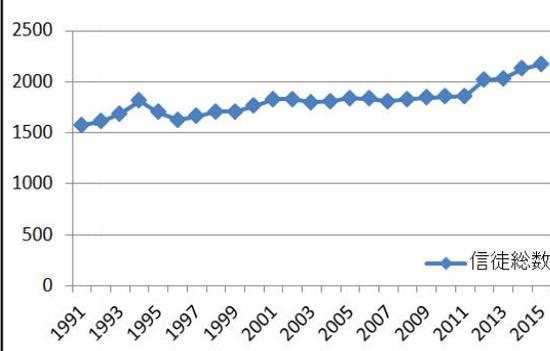
月二十八日(日)はブラジルの人たちの六月のお祭りであるフェスタ・ジュニーナが行われています。ブラジル語のミサに参加し、南米の食べ物を楽しむ季節、誰も参加者がいないかなと思いましたが、異なる文化の中での交流は違ったミサを体験する機会となり良かったと思います。

普段の中高生会は平均して五人くらい集まっています。スナップとして大学生が二人助けられてくれます。中高生の皆さんは九時三十分のミサ後、中高生会の部屋を是非のぞいてください(信徒会館1階)。一年に一回でもいいです。また、夏合宿を八月一日(土)、二日(日)と知多市にある長浦教会で行う予定です。申し込み用紙は事務所にあります。たくさんの中高生の参加を待っています。

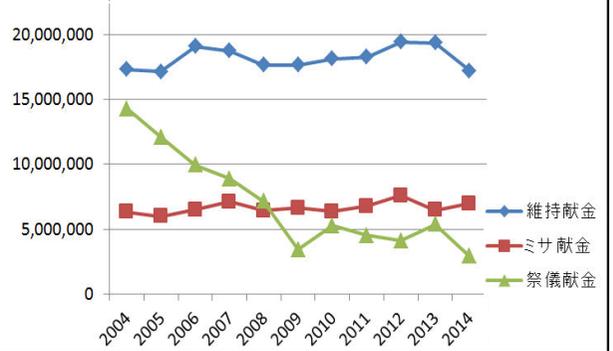
洗礼・結婚の推移



信徒数の推移



維持献金・ミサ献金・祭儀献金の推移



スカウトバザーは大盛況だ！

伊藤 宗太郎

去る6月14日(日)スカウトバザーで大きく盛り上がった。入梅でテレビの天気予報にヒヤヒヤしたが、神様のお恵みで当日はやや曇りの天気。感謝、感謝！最近日本上空を襲うゲリラ雷雨や突風に遭遇しなくて良かった。

例年、この行事はボーイ活動資金確保と信者や近隣の方々の親睦を図って開催。準備には数週間前からスカウト、隊長、リーダー、友人、父兄家族たち総勢50余名を動員した。幸いに、教会信徒の皆さんや南山小学校父兄の方々のご好意で多くの寄付の品々を戴いた。お金までも、アリガトウございます！

出し物に新品コーナー、掘り出し市、食べ物模擬店、古着など例年の趣向に、カブスカウトのたま投げゲームなどが加わった。少し暑かったのでワイン、ビール、ジュース、お茶などがバカ売れした。ワイワイ、キヤーキヤーと賑やかに大騒ぎ。食券も昼までに完売して、バザーの業績は純益39万円余に達した。

バザーの終わりには、新品、古着、ガラクタ市の大幅値下げを断行！「商品1袋入れ放題で100

円」、「昼12時半からみんな半値」、「より取り見取り1個10円」の掛け声でお客様が殺到した。会場の後片付け時間になって商品を物色するお客さんがウロウロと大変！皆さんは商品をいっぱい入れた大きな買い物袋を両手に下げ、ニコニコ満足そうに帰って行かれた。

いずれにしても、バザーは大成功で終了。オツカレサマ！

97団のボーイたち世界スカウトジャンボリーに参加！

伊藤 宗太郎

来る7月25日から8月9日まで16日間、山口県瀬戸内海沿岸「さら浜」で第23回世界スカウトジャンボリーが開催される。そこには全世界から162国が参加し、14歳〜17歳の中・高生中心に約3万人が集う。「和：a Spirit of Unity」をテーマに、平和、環境、防災など体験しながら楽しく学ぶ大会が催される。

教会のボーイ97団はボーイスカウト5名が全日程わたり大会参加の予定。さらに副長クツ・マイケル氏や隊長ガニエ・グレン氏は大会トップ層に編入され、お得意の英語、フランス語、スペイン語を

駆使して大会役員たちの意思疎通や融和を図る。彼等は英語ミサでおなじみの信者さんたちだが、開会式には皇太子殿下や安倍総理大臣をはじめ世界各国の重要な要人も参列される計画なのでその活躍が大いに期待される。

なお、昭和区、天白区、瑞穂区の地域では100名のボーイスカウト達が参加するので、来る7月12日午後2時からマリア館ホールで壮行会を開催し、その活動を激励する予定。
ガンバッテね！



6・婚姻の秘跡（その4）

愛に生きる

イエス・キリストがご自分の生き方をもって、愛の最も完全な模範を示してくださいました。イエスの活動が始まった時からイエスと共にいて、自分の目でイエスの行いを見、自分の耳でイエスの言葉を聞いた。ペトロは、イエスの生き方を次の言葉を以て短くまとめました。

「イエスは、方々を巡り歩いて人々を助け、悪魔に苦しめられている人たちをすべていやされたのです。」（使10・38）すべての福音書が伝えている通りにイエスは人を助けるために、その人が一番必要としていた善を行われました。しかも、ご自分に対して好意を持って、ご自分を受け入れた人やご自分のために何らかの善を行った人のためだけにではなく、自分に対して悪意や敵意を持っていて、ご自分に害を与えた人のためにも、必要な善を行われたのです。また、人を助けることは、ご自分にとって何等かの益をもたらさ



ときだけではなく、何の益にならなくても、逆に、何等かの損になっても、イエスは人を助けるために、自分の命を含めて、持つておられたすべてをささげられたのです。それを見ると、他の人を愛するとは、利益や損失を計算することなく、まったく無条件で、その人のために必要な善を行うこと、つまり、その人に奉仕することであるということがわかります。イエスのように誰かを愛する人、つまり真の愛をもって誰かを愛する人は、この人を助けたいという気持ちがあるときにだけではないと、このような気持ちがないときにも、善を行うのです。したがって、真の愛は、自分の気持ちに左右されずに、他者のために生きるという決断であると言えるわけです。確かに、この決断に従って、人に奉仕することに喜びや充実感などのような愉快な感情が伴うと、この感情は善を行う助けになります。このような感情がなくても、真の愛には十分な力があるのです。

誰かのために生きるという決断である愛は、コミットメント、または、自己奉獻であると

も言えます。実は、全能の神は、無力な民であったイスラエルと契約を結ぶことよってこの国民にコミットメントしてくださり、イエス・キリストが結ばれた新しい契約よって、罪人の束縛よって苦しめられていた全人類にコミットメントしてくださって、絶対に変わることをしない永遠の愛を表してくださいました。

真の愛について教え、ご自分の振る舞いや出会った人々に対しての態度よってこの愛を実際に示してくださいました。イエスは、愛する人の過ち、愛する人の悪事を赦すことの必要性を強調しておられました。イエス・キリストが語られた赦しとは、愛する人の過ちや悪事、またこの人の言葉や行いよって自分に与えられた害や自分が負わされた傷、つまり、自分の苦しい体験を忘れることとか、このよ

うなことを我慢するようなことではありません。相手の過ちや悪事がなかったことにしたり、黙って我慢したりするのは、実際に相手にそれを許可することになります。それを愛の故にするつもりであっても、実際に、

相手に自分の生き方を正す力がない、つまりこの人に成長する可能性がないというような絶望的な確信の表れであって、そんなつもりがなくても、愛する人の成長を妨げることになるのです。イエス・キリストが教えた赦しとは、愛する人と共にこの人の現実的な問題を認めたらうで、互いに力を合わせれば、この問題を解決することができるといって希望を持って、相手を受け入れて、以前の親しい関係に戻ることなのです。したがって、愛するとは、誰かにおいて、命を懸けて守りたい善や支えたいような素晴らしい価値を見ただけではなく、相手の足りないところや悪いところを見ながら、この人がそれを乗り越え、正すことができるという希望を持つことでもあるのです。その支えと大きな励ましである希望のために、真の愛は、その愛の対象となっていない人の人間的な成長を妨げないだけではなく、その成長を促し、その人を全面的に高めるものであると言えるのです。

そのような特徴を持つ真の愛は、愉快な感情やいろいろな期待（多くの場合、何の根拠もない期待や非現実的な期待）に基

づくロマンチックな愛と違って、一時的なものではなく、いつまでも続く、永遠のものなので

神に象つて創造されたすべての人々には、イエス・キリストのように愛に満たされた神の心に適う神の子になる可能性がありません。イエス・キリストは、すべての人々をありのまま知っておられ、すべての人々においてこの素晴らしい可能性を見ておられたために、すべての人々、たとえ性格が悪くて、間違つた価値観を持って、多くの悪事を行った故に、本人を含めて誰もこの人において何の善も見出すことができないような人をも愛することができたのです。イエスとの交わりを深めれば深めるほど、人間が神の愛によつてますます豊かに満たされるし、少しづつイエスの目で他の人を見ることができるようになりますので、イエスと同じように出会うすべての人を愛することができなのです。

愛に基づき、愛の完成へと

向かう結婚

イエス・キリストご自身の辛い体験や多くの人の体験が示し

ている通り、愛されても、この愛を受け入れない人やこの愛を利用しようとしたり、この愛を滅ぼそうとしたりする人が大勢います。そのために、多くの場合は真の愛は一方的なものとなつていくのです。けれども、神の計画に適う結婚が成立するために、相互の愛に基づく相互のコミットメントが必要です。実際に、「私たちは夫婦として、順境にあつても、逆境にあつても、病気のときも健康のときも、生涯、互いに愛と忠実を尽くすことを誓います。」という結婚誓約は、このような相互のコミットメント、相互の奉獻なのです。そのために、結婚誓約という形で表現された愛は、結婚誓約を交わした男女を非常に深く結ぶ、堅い絆となるのです。

神の心に適う結婚が実際に成

立して、有効なものになるために、結婚する二人に、相手に自分の人生を奉獻したい、相手と死ぬまで消えない絆によつて結ばれたいという自由意志が絶対的に不可欠です。そのために、結婚式の司式者は、次の言葉を以て、この自由意志を確認します。「お二人は自らすすんで、

この結婚を望んでいますか。」
「結婚生活を送るに当たり、互いに愛し合い、尊敬し合う決意をもつていますか。」
「洗礼を受けることによつて原罪の束縛から解放されて、イエス・キリストと結ばれ、神の愛と神の命にあずかるようになつたキリスト者、つまり愛に生き

花嫁である教会に対するイエ

ス・キリストの愛を現すこと、つまり、目に見えないキリストの愛の目に見えるしとなることなのです。このような使命を果たすことは、人間の力を超えているものでありますが、結婚する男女は、神の前で結婚誓約を交わすことによつて、互いに奉獻する二人にキリストご自

イエス・キリストは、結婚した受洗者同士が与えられた使命を果たすために必要な愛を絶えず与え続けていますが、二人の愛が成長し、完成されるために、結婚誓約を守ることによつてこの恵みに誠実に生きること、神の最高の賜物であること、愛に対して開かれた心を持つ必要があります。この愛の賜物に開かれた心を持つということ、神の他の賜物、特に新しい命という大きな賜物にも開かれ

た心を持つということ、逆

に言えば、避妊や人工中絶などによつて神が授ける命に心を閉ざす夫婦は、結婚誓約を守るために必要な他の賜物にも心を閉

じるということになるのです。神が与えてくださる命に対して、神が与えてくださった命に對して開かれた心を持つことが結婚生活を正しく送ることにそれだけ深くつながっていますので、それを確認するために、司式者は二人の自由意志を確認した後、「お二人の家庭に恵まれる子どもを神からの恵みとして心から受け入れ、キリストとその教会の教えに従つて育てますか。」という質問を付け加えるので

カテキズム1617参照)

第6回運営委員会

司祭団より

松浦司教様よりの手紙が届いた。平和旬間の過ごし方について、年2回の平和の祈りの実践（南山教会ではすでに行っている）と、司教団が出す文章についての分かち合いを行うか今後話し合いをする。

従軍慰安婦をテーマにした朗読劇「ひとみ」を行う横井量子様に、南山教会のホールを場所として提供すべきか検討した結果、他にふさわしい場所があるかもしれないので、神言会の「正義と平和委員会」を提案する。

新しい「ローマ・ミサ典礼書の総則」に基づく変更箇所が発行された。2015年11月29日（待降節第1主日）から実施するようにと指示されている。具体的な変更点については、典礼委員会でも内容を検証し、周知の方法など検討する。所作文言など、諸々変更があるうかと思うが、適正化に必要なこととご理解願う。

報告・連絡事項

6月14日、典礼奉仕者全体集会

主任司祭から日頃のご奉仕への感謝のお言葉を、典礼委員長からも感謝と今後各々のタレントを活かしてご奉仕頂きたい旨お言葉

をいただいた。各グループに分かれての話し合いでは、ミサ準備に於ける連携方法、9時30分ミサ後聖歌の練習に大勢のご参加をいただく為にはどうしたらよいか、オルガンの前奏曲後奏曲について、朗読台マイクの扱いについて等、確認がなされ、現状を把握する機会となった。参加者30名程。

6月20日、オルガン管理委員会

第7回オルガン管理委員会では過去2年のオルガン設置場所の湿度のデータを比較したところ、エアコンを24時間稼働させる必要がないという結果がえられた。

オルガン修理業者から扇風機を使つてオルガン周辺の空気を循環させることが湿気対策によいとの助言があり、営繕委員会の協力では今年扇風機を工夫して利用することになった。

また、今年度中に中高生会の子供たちにパイプオルガンの見学と体験をもらう企画を予定している。

ヨセフ館の新しい電子オルガンは3月から葬儀などで活用されている。

6月28日、信者全体集会

参加人員、信徒80名＋司祭4名＝計84名（昨年は約60名）。ボクダン神父様の南山教会の全

体状況の説明に始まり、運営委員会を構成する各委員会より、活動概要の説明と信徒への協力依頼があった。

ボクダン神父様から、ミサは司祭独りでもできるが、侍者や先唱者、案内係などの奉仕者、そしてミサに参加する信徒がいて初めて充実して、神の国の喜びとキリストの体の姿を現すしとなる。同様に、小教区の運営や共同体の諸活動に多くの信徒が積極的に参加するときだけ、小教区共同体がその使命を果たすとお言葉をいただいた。

財務に関しては、納骨堂の会計を一般会計に繰り入れたので大規模修繕にむけて良い内容になっている。営繕委員会からは大規模修繕（大聖堂とマリア館）がこれからの大きな課題になるということ。納骨堂管理委員会からは、空きが残り60%程あることが報告された。その他、各有意義な報告から鱗が落ちるように教会の状況を把握できた。

7月26日、救急法講習会の概要

予定通り11時から12時30分に行う。来週のミサの案内で告知する。30〜40名分の人形を用意して心肺蘇生と、簡単な応急措置につ

いて行う。

8月6日、9日 平和旬間（祈り）

例年どおり6日は8時から大聖堂でミサを行う。9日は9時30分のミサの共同祈願の中で行う。

大聖堂結婚式控室周辺の緊急補修

6月29日から改修工事を始めている。外からの入口が12cm広がり、車いすやストレッチャーが通過できるようにした。段差も解消されて聖堂内から外までバリアフリーになった。22日から中の鉄扉と絨毯の張替、外のアーチ等順番に行い、7月中旬に工事が完了する予定。ついでに香部屋の出入り口もスロープにする。8月の結婚式までには完了する予定。

その他

9月4日のマリア会例会の後、大聖堂にて1時〜2時30分の時間でミニオルガンコンサート（吉田徳子さんを囲んで）を行う。

審議・相談事項

松浦司教様からの手紙

司教様の小教区信徒との対話と合同堅信式への対応について。

いついらいっしやるかは未定。何を質問するかと、南山教会の都合をあらかじめお知らせしておく等検討する。

大規模補修費用への積立金の内容

2017年には、建物診断、

2018年には、南山教会としての補修プラン立案、予算の確保等懸案事項が山積している。現時点で、どれほどの積立金があるかを明確にし、信徒の意識を上げていきたい。どんな方法があるかを検討していきたい。

6月30日現在、運営費として預金4100万円程ある。通常毎年100〜200万円程積み立てられる。また、納骨堂の申込数により加算される。その内積立金としての定期預金は1500万円程。案として、3年後の大規模補修に向けて普通預金の内1500万円を定期に繰り入れて3000万円とする、残りの3年間で積み立てて大規模修繕に備えていこうと考えている。

現在は、建物診断も未検討の段階だが、電気・水道・ガス・電話などの基本インフラが60年近く経過して劣化している部分が多い。20年前の建物診断時の物価から推定すると、5千万円以上の出費が予想される。

今回の大規模補修は大聖堂とマリア館を対象とする。カトリック会館については、築後60年近く経過しており、現在の耐震基準に適合させようとすると、建て替えに

近い費用がかかるため、大規模補修後に建て替えを検討する。

8月30日、避難訓練

香部屋入口の段差解消に伴い、車椅子等の集合場所の変更を確認した。大聖堂の修繕により、車椅子・ストレッチャー等が祭壇の左右の出口両方からの避難が可能になった。

詳細は避難訓練の時に信徒に周知する。日常で具合の悪い人は控室側を使う。

バザー実行委員会より

今年度のバザーのテーマは、応募していただいた中から「神から受けたその愛をすべての人へ」に決定しました。

7月18日までに出店希望調査を行う。

余興の一つでマーティン神父様担当でガーナの踊りと歌を披露する予定。

今年、案内図を配布すること、ゴミの分別と持ち帰りの徹底をしていきたいと思う。

9月13日、敬老会の準備について

9月の初めに参加者数が決まる。余興については南山小学校の琴の演奏と中高生会と昨年歌を歌った小出雄様に依頼する。

その他

初聖体の共同祈願を運営副委員長が担当する。

今年の夏にボーイスカウトの世界ジャンボリーが山口県で行われる。開会式で97団の隊長が重要な役割を担当する。

8月6日以降にウガンダのスカウト9名が南山教会の中庭でキャンプをする。

各会報告

典礼委員会

6月14日 典礼奉仕者全体集会30名程度出席

6月21日 ウィリアム新司祭(ヴァートル会)の初ミサ

7月12日 初聖体

ボーイスカウト

・水泳訓練

日時：7月18日(土)

場所：内海海岸海水浴場

・夏期野舎宮

日時：8月14日(金)〜16日(日)

場所：長野県藪原高原

・第23回世界ジャンボリー日本大会

日時：7月28日〜8月8日

場所：山口県きらら浜

教会学校

8月7日から9日尾張あさひ苑(昼神)にてキャンプの予定

レジオマリエ

6月20日 神言会管区長永山誠師をお招きして黙想会を行いました。(随時会員を募集しています)

6月20日 神言会管区長永山誠師をお招きして黙想会を行いました。(随時会員を募集しています)

6月20日 神言会管区長永山誠師をお招きして黙想会を行いました。(随時会員を募集しています)

6月20日 神言会管区長永山誠師をお招きして黙想会を行いました。(随時会員を募集しています)

6月20日 神言会管区長永山誠師をお招きして黙想会を行いました。(随時会員を募集しています)

6月20日 神言会管区長永山誠師をお招きして黙想会を行いました。(随時会員を募集しています)

カトリック教会のカテキズムより

1403 最後の晩さんのときに、主ご自身が弟子たちの注意を神の国における過越の完成に向けさせてくださいました。「いっておくが、わたしの父の国であなたがたとともに新たに飲むその日まで、今後ぶどうの実から作ったものを飲むことは決してあるまい」(マタイ26, 29)。教会はエウカリスチアを行うたびに、父の国でキリストとともに新たにぶどう酒を飲むというキリストの約束を思い起こし、目を「やがて来られるかた」(黙示録1, 4)に向けます。そして、そのかたの到来を願って、「マラナ・タ(主よ、来てください)」(一コリント16, 22)、「主イエスよ、来てください」(黙示録22, 20)、「あなたの恵みが訪れて、この世が過ぎ去りますように」と祈ります。

南山句会

平成二十七年六月十日



琵琶たわわ閉園の庭木馬かな

せつ子

大聖堂オルガニストに薔薇の風

美智子

チューリップ影をつくらず開きけり

真喜子

花鉄いつもこの音牡丹剪る

紀子

懐しき童謡うたふ春夕焼

とく子

芍薬の真紅まとふや幾重にも

公子

薔薇一輪四方山話聞きにけり

一藤

ロザリオを繰れば薔薇の香昇天祭

義子

蛞蝓の身をよじらせて失せにけり

豊子

毎月第二水曜日午後一時半
マリア館二階集会室

信者の消息

受洗

おめでとうございます

- 6/12 ザカリア 杉田 博
6/12 エリザベト 杉田 多美江
6/27 マリア・ステラ 澤田 依典
6/27 マリア・ステラ 澤田 麻里愛

帰天

ご冥福をお祈りします

- 6/8 フランシスコ・ザビエル 平塚 夏樹 (70歳)
6/13 ペトロ 笠原 正 (89歳)

転入

ようこそ

- アンジェラ 中川 己智子 (東仙台教会)
エリザベト 内海 千穂 (趣町教会)

転出

いつまでもお元気で

- テレジア 田中 良子 (宇治教会)

教会維持費

6月は1215.975円の維持費が納められました。有難うございました。

教会の維持・運営・宣教活動は、教会信者全員が毎月納める維持費によってまかなわれますので、よろしくお祈りします。

2015年7月・8月行事予定表

| | 教会典礼歴 | 南山教会行事 | 各会活動 | 教区行事・その他 |
|----|-------------|--|--|--|
| 7月 | | 12(日)初聖体/子どものミサ 教会学校パーティ 26(日)救急法講習会 | 3(金)マリア会例会(懇談会) 5(日)11:00 運営委員会 12(日)典礼委員会 12(日)ヨセフ会班長会 18(土)10:30子ども部屋 19(日)教会学校終業式 25(土)要約筆記付きミサ 26(日)中高生会終業式 | 5(日)司教叙階・金銀祝 12(日)城東ブロック会議 16(木)司祭協議会 19(日)障害者の集い |
| 8月 | 15(土)聖母の被昇天 | 6(木)平和の祈り (8:00ミサ) 9(日)平和の祈り (9:30ミサ) 16(日)聖母被昇天祭 (聖母行列) 30(日)避難訓練 | 22(土)要約筆記付きミサ | 3(月)~5(水)侍者会 (神言神学院) 6(木)~15(土)平和旬間 |